



2024年11月7日

各位

会社名 石井食品株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 石井 智康
(コード番号 2894 東証スタンダード)
問合せ先 経理部 マネージャー 村上 樹生
(TEL 047-774-8748)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期通期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	10,710	250	280	165	9.89
今回予想 (B)	10,900	100	130	80	4.80
増減額 (B-A)	190	△150	△150	△85	△5.09
増減率 (%)	1.8	△60.0	△53.6	△51.5	△51.5
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	10,492	413	457	471	28.07

2. 通期連結業績予想の修正理由

当連結会計年度における食品業界は、消費者の節約・低価格志向により、先行き不透明な状況にあります。このような環境の中でも、営業活動の継続強化及びキャンペーン等の販売促進施策を定期的に行っていることにより、売り場獲得及び活性化を実現できており、50周年を迎えるミートボールを中心に売上高は堅調に推移しております。

しかしながらコスト面では、戦略的に進めている持続的な組織力向上のための増員や生産設備及びITシステムへの継続的な投資による人件費及び減価償却費の増加以外に、トマトペーストや包装資材などの原材料が当初想定を上回る高騰をしているほか、運搬費が当初想定を超えた単価上昇等によって増加するなど、一部経費については、想定を超えて増加しております。

加えて、人件費につきましては、生産ラインの改善、生産計画の合理化や在庫の適正化による生産性向上を進めることで残業削減を図っておりますが、生産増等の影響もあり効果が想定より出ていないことで、当初想定より増加しております。

したがって、売上高は前回予想値を上回る見込みとなっておりますが、売上原価・販売費及び一般管理費の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想値を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上